

平成27年度 第5回教育研究評議会議事録

日 時 平成27年7月15日(水) 14:30～17:15
場 所 附属図書館浜松分館・学生支援棟3階大会議室
出席者 伊東幸、石井、木村、東郷、前田、柳澤、丹沢、伊東暁、澤渡、鈴木、
今野、寺村、菅野、谷、酒井、藤井、塩尻、佐古、中山、糠谷、鳥山、
渡邊、中村、朴、澤田の各評議員
欠席者 加藤、三村の各委員
陪席者 鈴木、櫻本の各監事
阿部、青木の各学長補佐

I 議事録の承認について

平成27年度第4回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

なお、委員から、前回会議のその他事項で紹介された科研費新制度「国際共同研究強化」の申請について、平成28年度の学士課程改革において、新教育プログラムの授業を担当する教員に係る設置審査上の縛りに対する対応について質問があり、石井委員から、授業の開講形態を変更する等、個別に対応が可能な場合もある旨の説明があった。

II 審議事項

1 静岡大学情報基盤センター規則の一部改正について

議長から、情報基盤センター長の選考に関して、大学のガバナンス改革を踏まえた学長のリーダーシップ確保のための静岡大学情報基盤センター規則の一部改正について、資料1により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

2 静岡大学理学部放射線障害予防規程の一部改正について

議長から、平成26年度第11回本会議(H27.3.18開催)で審議及び承認された静岡大学理学部放射線障害予防規程の一部改正後の規程において、監督機関である原子力規制委員会からの指摘に伴う「記録簿」の取扱いに係る同規程の再度の一部改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

また、委員から、改正概要中の表記について指摘があり、修文することとした。

3 フェ大学(ベトナム社会主義共和国)との大学間交流協定の更新について

議長から、フェ大学との大学間交流協定の更新について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 静岡大学アジアブリッジプログラム留学生借り上げ寮規則の制定について

議長から、新留学生寮の完成までの間にA B P留学生のために借り上げ寮を提供するための静岡大学アジアブリッジプログラム留学生借り上げ寮規則の制定について提案があり、鈴木委員から、資料4により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、委員から、借り上げ寮の提供室数について質問があり、鈴木委員から、協力企業からの借用施設等を活用しながら、希望者全員に提供できるようにしたうえで、今後、寮の運営体制等について検討していきたい旨の説明があった。

5 静岡大学グローバル人材育成アジアブリッジプログラム推進教職員賛助会会則の制定について

議長から、7月の企画戦略会議において了承されたアジアブリッジプログラム事業実施に係る寄附を推進するための後援組織について、その後の調整を踏まえ、静岡大学グローバル人材育成アジアブリッジプログラム推進教職員賛助会を設置することとした旨の経緯説明があり、本会の設置に伴う会則の制定について提案があった。

続いて、鈴木委員から、同会の趣旨及び会則の概要について、資料5により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、委員から、特定基金の目標額達成の目途について質問があり、鈴木委員から、学内で集積できる募金額にもよるが、学内や企業等への呼掛けを積極的に行い、是非達成したい旨、また、学内の募金に係る基準等については、今後、同会に組織される運営委員会において、詳細を検討していきたい旨の説明があった。

6 教員の懲戒について

議長から、本会議の下に設置された小委員会における調査等を踏まえた教員の懲戒処分について提案があり、本会議として原案を承認した。

Ⅲ 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、平成27年度第4回企画戦略会議（H27.7.1開催）について、資料6により報告があった。

なお、渡邊委員から、同会議の審議事項であった「IR室」の在り方について、創造科学技術大学院としての意見が述べられた。

2 平成26年度決算について

前田委員から、平成26年度決算の概要について、資料7により報告があった。

3 平成28年度概算要求について

前田委員から、本学の機能強化の取組構想（案）を踏まえた平成28年度概算要求事項（案）について、資料8により報告があった後、種々意見交換を行った。

<意見交換で確認された主な事項>

- ・概算要求に係る各機関への配分方法については、今回は、各プロジェクトに対しての配分は行われず、各機関に総額として配分されることが想定される。
- ・独自評価指標については、特に統一的な基準が設けられておらず、他大学との相対評価とならないためには、困難ではあるが、大学ランキング等に依らない各大学独自の指標を設定することが望ましい旨の指導を文部科学省から受けている。
- ・お示しした評価指標については、その数値を含め、現在役員会において精査しているところである。提出期限間際までの作業が想定されるため、本指標の設定については、役員会に一任していただきたい。
- ・戦略の一つにCOC+による人材育成を掲げているが、文部科学省からは、同事業に採択されることを前提に記載することを了解されている。
- ・機能強化の取組構想については、文部科学省に提出した最終版を改めてお示しすることとしたい。

4 学長選考会議における検討状況について

糠谷委員から、学長選考会議における検討状況について、役員との学長選考基準の在り方に関する意見聴取や選考基準に盛り込むべき事項等の検討等の審議経過について、報告があった。

なお、議長から、学長選考基準の検討にあたっては、選考会議の場に閉じず、意見聴取するなど、広く議論できる取り扱いが望ましい旨の付言があった。

5 平成28年度学士課程改革における学生定員について

石井委員から、文部科学省からの要請を踏まえた平成28年4月1日における学士課程の学生定員について、資料9により報告があった。

なお、同委員から、人文社会科学部における学生定員の移行については、文部科学省から、同学部の学環定員を含めた表記（同学部の学生定員減少が見える形）とし、説明することを求められており、この点を含めた設置審査にかからなかった各部局の定員移動の説明については、今後、文部科学省と相談していきたい旨の補足説明があった。

6 静岡大学危機管理ガイドラインの制定及び静岡大学における危機管理基本マニュアルの廃止について

柳澤委員から、静岡大学危機管理ガイドラインの制定及び静岡大学にお

ける危機管理基本マニュアルの廃止について、資料10により報告があった。

なお、委員から、ガイドラインで示された「緊急時の体制」について、過去の事例を踏まえ、担当する委員会等の他に関連する委員会についても必要な情報を提供する等、柔軟な対応を願う旨の意見があり、柳澤委員から、今後の検討の中で精査していきたい旨の説明があった。

7 静岡大学大学院における山岳科学共同学位プログラムの設置について

糠谷委員から、大学院総合科学技術研究科を含む他大学との山岳科学共同学位プログラムの設置構想について、資料11により報告があった。

なお、石井委員から、同学位が新たな学問分野であるとの位置付けでは、設置審査に相当する手続きが必要となるため、既存の専攻において出せる学位としての位置付けが望ましいのではないかとの付言があった。

8 教員採用等報告について

議長から、融合・グローバル領域2名の教員の採用について、資料12により報告があった。

IV その他

1 マイナンバー制度について

柳澤委員から、平成28年1月1日から運用される「社会保障・税番号制度（マイナンバー）」について、資料13により教職員に案内する旨の説明があり、今後、同制度への対応等について、引き続き検討を行った上で、10月の本会議に規則案を提示したい旨の説明があった。

以 上